

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願いー

現在、糖尿病・代謝内科学では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] インスリンポンプ・SAP(sensor augmented pump)導入後長期の有効性・安全性の検討

[研究対象者]

2014年1月～2020年1月までの間に、糖尿病・代謝内科にて1型糖尿病と診断され、インスリンポンプによる治療を受けた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、身長、体重、入院日、既往歴、併存疾患名、治療内容、血液検査結果、尿検査結果、持続血糖モニターデータ、持続血糖モニターレポート内容、SAP レポート内容 等

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

インスリンポンプ、SAP療法の長期的な有効性や安全性について解明することを目的としています。

[利用期間] 倫理委員会承認後より2026年3月までの間 (予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 糖尿病・代謝内科 教授・講座主任 馬場園 哲也

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 糖尿病・代謝内科 高木 聡

電話：03-3353-8111 (内線27114) (応対可能時間：平日9時～16時)

ファックス：03-3358-1941